

第6次江南市総合計画市民会議 議事要旨 (第6回 第1分科会 (まちづくり分野・しごとづくり分野))

日 時 平成29年1月27日(金) 9:30~11:40

会 場 第3委員会室

出席者 出席委員9名(1名欠席)

■委員

〈会長〉	加藤 幸治	江南市都市計画審議会委員
〈副会長〉	宮川 秀男	公募市民
	中村 建岳	公募市民
	初山 光正	公募市民
	川田 圭一	江南市歴史ガイドの会会長
(欠席)	前田 哲郎	布袋地区鉄道高架・街づくり協議会幹事
	野田 憲一	江南市総合計画策定部会(まちづくり分野) 部会長
	石川 晶崇	江南市総合計画策定部会(まちづくり分野) 副部会長
	大岩 直文	江南市総合計画策定部会(しごとづくり分野) 部会長
	石坂 育己	江南市総合計画策定部会(しごとづくり分野) 副部会長

■傍聴者

なし

◆議題

議題

(1) 基本計画(分野別計画)について

〈配付資料〉

資料1 江南市総合計画市民会議(第4回第1分科会) 議事要旨

◆会議結果

1 開会

事務局より挨拶。

2 市民会議

2.1 報告

(1) 第4回議事要旨の確認について

(会 長) 報告(1)の「第4回議事要旨の確認について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ~ 資料1について事務局より説明 ~

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

~ 特に意見なし ~

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

2. 2 議題

(1) 基本計画（分野別計画）について

(1. 1) 検討した柱の修正確認について

①分野Ⅰ－柱4 道路について

(会 長) ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

②分野Ⅰ－柱6 下水道について

(会 長) ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

③分野Ⅰ－柱7 治水について

(会 長) 雨水流出抑制施設整備率の棒グラフの数値が見づらいので、見やすくしてほしい。

(事務局) 分かりやすく修正します。

④分野Ⅲ－柱1 商工観光・雇用就労について

(会 長) ご意見等ありますか。

(委 員) 観光協会ホームページのアクセス数を個別目標の指標に加えていただきありがたい。

また、交流人口を増やすには、新しいイベントをするだけでなく、既存のイベントを充実させることも必要。先日筆まつりが開催されていたが、せっかく学問の神様のまつりなのに、センター試験と日程が被っていて、受験生は行けなかったと思う。より参加してもらえるようにイベントの日程の再考も必要ではないか。筆まつりは北野区主体だと思うが、第4回分科会で要望したように、市民、観光協会、商工会議所、行政などが連携して、観光行政に取り組んでいってほしい。

(会 長) イベントの開催時期は検討が必要かもしれない。

(委 員) 第4回分科会では、犬山市などの観光客を引き込めないかとの発言があったが、具体的な取組みを期待する。

(商工観光課) 企業との連携や、産業と観光が一体となった賑わいづくりにより、交流人口を増加させる観光行政を進めていきたいと考えています。

(1. 2) 柱の検討について

①分野Ⅰ－柱3 市街地整備について

(まちづくり課) ～ 分野Ⅰ－柱3市街地整備についてまちづくり課長より説明 ～

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

(委 員) 個別目標②の主な事務事業に「区画整理運営事業」とあるが、布袋南部以外で対象地域はあるのか。

(まちづくり課) 現在、対象地域はありません。

(委 員) 事業名に布袋南部を加えてはどうか。

(まちづくり課) 検討します。

(委 員) いこまいCARは、市民の足の確保としては効果的な取り組みだと思うが、個別目標③の施策内容では、それだけが強調されているように見える。指標名の「誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合」には、他の公共交通機関の利用によるものも含まれると思うので、別の表現はないか。

- (市民サービス課) 満足度は、電車、バス、いこまい CAR などの利用状況から測られるものであるため、いこまい CAR だけが強調されない表現の再考を検討します。
- (委員) いこまい CAR にかかる経費やバスへの補助額、また、それぞれの利用者数について教えていただきたい。
- (市民サービス課) 名鉄バスへの補助ですが、昨年度実績は約 2,900 万円、今年度は 2,200 万円程度の見込みです。いこまい CAR についての昨年度実績ですが、利用者数は 62,075 人、登録者数は 6,874 人、市の負担額は 30,644,050 円となっています。大口町コミュニティバスについての昨年度実績は、江南駅から大口町へのルートの利用者が 3,503 人、布袋駅から大口町へのルートの利用者が 2,687 人、4 つのバス停で年間 48 万円を大口町へ支払っています。
- (委員) 成果目標の指標の中には、市民満足度が使われていることがあるが、それぞれ基準値が 1～2 割程度しかない。満足度が低いので、市街地整備が江南市の大きな課題だということが分かった。主にハード面の整備に重点をおいたまちづくりにより賑わい創出を目指しているが、公共交通の整備や都市基盤整備には多額の費用がかかってしまうので、それだけでは限界がある。例えば、行政関係情報の周知徹底を図るなどのソフト面の充実でもまちの賑わいは生まれるのではないか。
- (まちづくり課) 布袋駅の高架化後は、駅前広場も整備していきますが、その活用については、まちづくり団体から発行される新聞のほか、SNS を使った周知も検討していきます。
- (事務局) 行政情報については広報のほか、Facebook や Twitter といった SNS でも周知しています。
- (委員) 本当にまちが賑わうためには何が必要なのか市民目線で考えてほしい。例えば布袋駅や江南駅前に市内の名所や公共施設を案内する大きな看板を作るなど、市内外の人に分かりやすいようにする。これだけでも賑わいにつながるのではないか。小さなことから進めることがまちづくり整備の基礎になると思う。
- (まちづくり課) 仮設の布袋駅前には、大きくはありませんが歴史の散策道のマップや布袋の案内マップを設置しています。こういった取り組みは広げていきたいと考えています。
- (委員) 目標値は、単純に過去の実績から算出していることが多く、江南市としてこうしたい、こうなりたいといったものがあまり見えてこない。ソフト面の充実によってまちは活性化すると思う。まちが活性化すればハード整備もビジョンを持ってできる。結果として魅力的なまちになると思う。ハード整備ばかりを先行するのではなくて、順序を逆にし、ソフト面の強化から進めてはどうか。各課が協力して、将来を見据えたまちづくりを進めていく必要もある。
- (まちづくり課) まちの活性化は重要であるため、全庁横断的にまちづくりを進めていく必要があると考えています。
- (委員) 賑わいづくりには長期的なビジョンを持った取り組みが必要。
- (会長) いこまい CAR は他自治体にあまりない制度なので、とても良いと思うが、今後の人口減少社会を見据えた内容の見直しも順次必要になってくる。また、まちづくりはどの自治体でも悩んでいる。例えば、駅前を整備しても、市外からの住民が、駅を利用するだけに終わっては本当の意味での賑わいは生まれない。何か良いアイデアはないか、住民と連携して考える必要がある。
- 現状と課題に、「市民、事業者と行政が協働することが重要」とあるが、これまでの会議で連携の重要性を議論してきたこともあり、「連携」を文章中に加えられないか。
- (まちづくり課) 検討します。

②分野Ⅰ－柱5 公園緑地について

- (まちづくり課) ～ 分野Ⅰ－柱5公園緑地についてまちづくり課長より説明 ～
- (会長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。
- (委員) 個別目標③の指標「地域で管理されている公園緑地などの数」は、基準値 43 個所から目標

- 値（H39）が46個所と3の増加だけなのに対し、個別目標①の指標「市民1人当たりの都市公園面積」は基準値3.8㎡から目標値（H39）7.0㎡へと倍程度に増加している。公園数が3個所しか増えていないのに、面積が倍以上になる理由は。
- （まちづくり課）フラワーパーク江南など既存の公園の面積が増えるイメージであり、公園数を今後増やすかどうかは未定です。あくまで個別目標②は、今ある公園のうち、地元で管理してもらう数を増やしていくものです。
- （委員）フラワーパーク江南との話が出た。先ほどの話に関連するが、フラワーパークを北部拠点としてまちづくりできないか。例えば、JAと協力して緑化センター、花の駅などを作る。農協、商工会議所などと協力し、市が音頭をとって取り組んでほしい。
- （まちづくり課）フラワーパーク江南は国の管轄なので、どこまで市が関与できるかは分かりませんが、せっかく良い施設があるので、まちづくりに上手く活かすのも必要ではないかと考えています。
- （委員）緑化、賑わいづくり、観光など複合的に考えなければならない。
- （委員）先ほどの市街地整備の話に戻るが、名鉄バスの乗降客数のデータは市がしっかり把握しておく必要がある。例えば、すいとびあ江南についてのデータを教えてほしい。
- （市民サービス課）日々の乗降客数の利用収入は計っておらず、年に一度2日間の調査結果を年間の数値に換算したものについてのデータを利用しています。すいとびあ江南から布袋駅間の「江南・病院線」の利用者は平成28年度が175,992人、平成27年度が173,380人となっています。
- （委員）フラワーパーク江南を市民の憩いの場所としての緑地と位置付けているのなら、足の確保も必要だと思う。
- （委員）すでにバス停のある音楽寺からフラワーパーク江南までをシャトルバスで定期的を送迎してはどうか。
- （委員）犬山から一宮までの堤防沿いをバス路線にするとよいかも。単体で考えてはだめ。広域的にバス路線は考えないといけない。
- （市民サービス課）公共施設等までの足の確保は市として必要なことですが、新規のバス路線を設けるとしても、名鉄にとって利益がなければならぬので、その兼ね合いが必要になってきます。
- （委員）市での緑化活動に壁面緑化は入っているのか。また、その実績は増えているのか。
- （まちづくり課）壁面緑化の補助制度はあります。今年度の補助実績はありませんが、平成25年度が338万円、平成26年度が448万円、平成27年度が700万円となっています。それ以外の緑化活動としては、シンボルツリーの配付、花いっぱい運動、樹木の保全などがあります。
- （委員）現状と課題に、市民1人当たりの都市公園面積は平成26年度末となっているが、平成27年度末ではないか。
- （まちづくり課）まだ平成27年度末の県平均、全国平均の数値が出ていないため、現状では平成26年度末と記載しています。データが出そろった段階で平成27年度末に修正します。
- （委員）個別目標①に公園等整備事業とあるが、管理とは違うのか。
- （まちづくり課）個別目標③にある維持管理とは違うもので、あくまで作るという意味での「整備」としています。
- （委員）公園は不特定多数の利用者がいるため、公園設備について適正な管理が求められる。
- （まちづくり課）故障等の対応を含めて、適正な維持管理に努めなければならないと考えています。注意喚起の一つとして貼り紙などを検討していきます。
- （会長）いくつか図表があるが、課名の表記を図表にもっと近づけてほしい。
- （事務局）修正します。
- （会長）他の委員が言われたように、緑化、まちの賑わいづくり、観光などは単体で考えていてはいけない。まちづくりの将来的なビジョンを持って、市民に示していけば、市民が積極的にま

ちづくりに参加したい意欲がわくと思う。

3 その他

次回会議日程について

(事務局) 次回第7回分科会会議は2月7日(火)午後3時から消防署講堂で開催します。
事前に資料を送付しますので、よろしくをお願いします。

4 閉会

(事務局) 長時間に渡りご検討いただきまして、ありがとうございました。第6回市民会議(分科会)を終了します。本日はありがとうございました。

以上